

SELF-EXPRESSION ABILITY COMPETITION



OPEN YOUR MIND  
心を開いて  
いきいき表現

# 自己表現力 コンクール



## 入賞者発表

# CONTENTS

- 第24回 自己表現カコンクール 大賞
  - 特別賞 クリエイティブ作品賞 <教育開発出版(株)提供>  
現代用語検定協会賞
- 

- 俳句の部
- 川柳の部
- 短歌の部
- 詩の部
- 作文の部
- 絵画の部
- アンデパンダンの部

## 入賞者一覧

### 大賞

高橋 瑠 東京都

### 【特別賞】

#### クリエイティブ作品賞

\*教育開発出版(株)提供

秋葉 康一郎 東京都

#### 現代用語検定協会賞

歸山 愛 愛知県

### 【俳句】

#### 最優秀賞

福島 奏良 埼玉県

#### 優秀賞

##### 〈小学生の部〉

小林 真翔 群馬県

#### 入選

##### 〈幼児の部〉

加藤 迅 愛知県

鈴木 康平 愛知県

佐々木 伊織 群馬県

竹原 凜乃 愛知県

## 第24回 自己表現カコンクール

### 〈小学生の部〉

藤川 莉玖 愛知県

梶野 凜咲 愛知県

梶野 凜咲 愛知県

### 〈一般の部〉

寒河江 昌平 東京都

### 【川柳】

#### 最優秀賞

滝田 衣梨 愛知県

#### 優秀賞

#### 〈幼児の部〉

藤川 凱偉 愛知県

#### 入選

#### 〈幼児の部〉

橋本 奈歩 愛知県

竹内 渉 愛知県

#### 〈小学生の部〉

吉川 由華 大阪府

篠村 晴心 大阪府

## 第24回 自己表現カコンクール

### 【短歌】

#### 最優秀賞

中井 理吏那 愛知県

#### 優秀賞

##### 〈幼児の部〉

西川 きい 愛知県

##### 〈小学生の部〉

中井 萌百那 愛知県

吉川 由華 大阪府

### 入選

##### 〈幼児の部〉

徳田 英之 愛知県

伊奈 海斗 愛知県

神谷 柁平 愛知県

##### 〈小学生の部〉

坂田 侑翼 大阪府

## 第24回 自己表現カコンクール

### 【詩】

#### 優秀賞

〈小学生の部〉

田代 楓怜 愛知県

中村 曜 北海道

#### 入選

〈幼児の部〉

早川 おん 愛知県

### 【作文】

#### 優秀賞

〈幼児の部〉

歸山 泉 愛知県

#### 入選

〈小学生の部〉

栗原 梢 神奈川県

久米 徳乃丞 東京都

〈一般の部〉

平田 みう 滋賀県

## 第24回 自己表現カコンクール

### 【絵画】

#### 最優秀賞

高橋 巧 東京都

#### 優秀賞

##### 〈幼児の部〉

菅野 央 東京都

##### 〈小学生の部〉

長瀬 千紘 愛知県

磯野 計太 東京都

### 入選

##### 〈幼児の部〉

木村 百亜 東京都

##### 〈小学生の部〉

鈴木 孔太郎 東京都

茨田 一 神奈川県

大庭 彩愛 神奈川県

## 第24回 自己表現カコンクール

### 【アンデパンダン】

#### 入選

##### 〈幼児の部〉

神谷 佳奈子                      愛知県

##### 〈小学生の部〉

立野 拓也                         大阪府

# 大賞

## 高橋 瑶 「保護猫カフェへようこそ!!」

(小学1年)

### ● 受賞者からのことば ●

ほごねこカフェに行ったとき、ねこは十ぴきくらいいました。そのなかでもあそんでくれそうなのがくろいねこだったけど、と中でこわがってしまって、そのつぎ、となりにいたしっぽがないねこでした。そのねこはうまれつきしっぽがなかったので、きになってかきました。どこをがんばったかという、ざぶとんとけです。けのほうは、ほそいふでーぽんーぽんかいてなんこもかさねてかいたからです。ざぶとんのほうは、おやゆびにえのぐをつけてペタペタぬって、ねこのおもさのしわをかくところをがんばりました。このえでたいしょうをとれるとはおもっていませんでしたのでびっくりです。らい年もすごいえをかくのでまっててください!

第24回 自己表現カコンクール



▼作品のコメント

保護猫カフェで会った猫を描きました。しっぽがすごく短くて、無い位に見えて、不思議だなと思いました。まだ人に慣れていないからか、今にもひっかきそうでした。苦労したところは、猫の毛が細くて描きにくくて大変でした。猫が寝ている座布団が大きいので、手と筆の両方を使って描いたところを頑張りました。何本描いたかわからないほど描いたら最後はイメージ通りになりました。

※作品のコメントは、作品を送る際の応募用紙に、作品制作上のアピール、テーマ、工夫したこと、苦労したことなどを記入していただいています。

▼講評

きちょうな体験でしたね。保護猫さんはこわい思いをしている子も多いからびくびくしていますよね。私も伺ったことがあります。気が抜けずじーっとこちらを見つめるまなざしを、見事に表現しています。筆だけでなく手でも毛なみを描いたのね。なでなでしながら描いている感じかな。愛が伝わります。ブルーグレーのクッションでおちつきを。えんじの床で緊張と不安が表れており、作品として見事にまとめ上げられました。

※このコンクールは一点一点の作品に講評してお返ししています。

ここでは大賞・特別賞・最優秀賞のみ講評を掲載しました。

【第24回 自己表現力コンクール】

特 別 賞

# クリエイティブ作品賞

＜教育開発出版(株)提供＞

## 秋葉 康一郎

(5歳)



「くじらひこうき うみとひのでのうえ」

▼作品のコメント

ぼくがだいすきなシロナガスクジラをいちばんかっこよく空にとばそう!! 海に昇る朝日は、みんなの心をわくわくさせるよね! そんな思いつきを大きい大きい大きい絵にしました。サイズは2畳分。朝日をあびてきらきらしたくじら飛行機の羽は、アルミホイルをつかって作りました。大きいので、毎朝、朝日といっしょに起きて、3時間以上描きつづけて、2週間かけてつくりあげました。本物をもっていくのは大変なので、ミニ美術館、ぼくのアナウンス付きでお届けさせていただきます。楽しんで下さい!!

▼講評

元気いっぱい康一郎さんの解説付きで、迫力もスケールも倍増!! すばらしいコーディネートでした。本物のエネルギーは、もっとすごいだろうね。クジラの背びれにバランスをとっている人や船や、小さな船で追いかけて見上げる人まで細かくカラーージュして貼られているのね。すばらしい! 金に輝く朝日の輝きをアルミ箔や色セロハンを重ねこんで表現され効果ばつぐんです。なによりシロナガスクジらひこうきの細かいデザインや模様がかっこいい!! 滑車がついていたり虹いろの配色やウロコの描写も美しいです。夢があふれていて、私はダントツ好きな作品でした。これからのびのびと描きつづけてほしいです。見せてくれて、ありがとう。元気が出ました。

【特別賞】

# 現代用語検定協会賞

## 歸山 愛

(小学2年)



「家康すごろく」

▼作品のコメント

私は歴史が大好きで、5歳のときから日本中の城を見に行ったり、歴史の本を読んで学んできました。その中でも一番好きなのは、徳川家康です。みんなが楽しく遊びながら家康について学べるといういいなと思います、すごろくをつくりました。工夫したところは、戦で勝ったらマスを進めるようにして、負けたらふりだしに戻ったり、1回休みをつくったところです。本能寺の変のマスを炎にしたり頑張りました。

▼講評

学びの多い楽しいすごろくでした。愛さんの歴史好きと、わかりやすい解説や導きにすっかり魅了されました。浜松城の滞在や武田信玄との絡み、天下統一までの流れや、その後の政治のうつりかわりまで、順にすごろくにまとめていて、だれもが学びながら遊べる楽しいゲームでした。家康さまのゴールのイラストがとってもいいです。全面にもイラストをもう少し増やして、続編もたのしみになっています。あそばせてくれて、学ばせてくれて、ありがとうございます。

【第24回 自己表現力コンクール】

# 俳句の部

## 最優秀賞

福島 奏良

(小学5年)

▶講評 赤べこが首を振る様子を「うなずく」としたところにセンスを感じます。風が吹いてくる様子と赤べこが首を揺らす様子が目に浮かんでくる生き生きとした一句になりました。

夏風に  
すずしくうなずく  
赤べこよ

優秀賞 <小学生の部>

小林 真翔

(小学2年)

はつおぼん

けむりのさきに

そぼのえみ

入選 <幼児の部>

加藤 迅

(4歳)

のぼったら  
どこにいけるの  
にじのやま

入選 <幼児の部>

鈴木 康平

(4歳)

なつやすみ

ママのごはんに

ありがとう

入選 <幼児の部>

佐々木 伊織

(5歳)

じゃかじゃかじゃ  
かわになったら  
さかなつり

入選 <幼児の部>

竹原 凜乃

(5歳)

ひまわりが  
おひさまパワー  
あつめてる

入選 <小学生の部>

藤川 莉玖

(小学2年)

うちあげて  
よぞらにうかぶ  
くらげかな

入選 <小学生の部>

梶野 凜咲

(小学5年)

もうしょに  
実 つけわすれる  
野菜たち

入選 <小学生の部>

梶野 凜咲

(小学5年)

せせらぎに  
魚とともに  
みをゆだね

入選 <一般の部>

寒河江 昌平

(47歳)

茜空

胸いっぱい

さびしさや

【第24回 自己表現力コンクール】

# 川柳の部

## 最優秀賞

# 滝田 衣梨

(小学4年)

▶講評 風が吹く日にベランダでゆれるタオル。その光景を想像するだけでも心地よい気持ちになりますね。そこに元気な「風の子」たちがやってきて物干しざおで「さかあがり」したのですね！ 「タオルくるりん」と勢いよく元気に「さかあがり」をする風の子どもたちの躍動感まで伝わり、衣梨さんのイメージの世界にひきこまれます。

風の子ら

タオルくるりん

さかあがり

優秀賞 <幼児の部>

藤川 凱偉

(5歳)

かつおぶし  
いきをふきかけ  
ふっかつだ

入選 <幼児の部>

橋本 奈歩

(5歳)

おさるさん  
二ひきでちゅっちゅ  
けっこんしてる

入選 <幼児の部>

竹内 渉

(6歳)

しろいはな  
ポップコーンの  
においだよ

入選 <小学生の部>

吉川 由華

(小学6年)

外出時

迷いに迷い

同じ服

入選 <小学生の部>

篠村 晴心

(小学6年)

ふうりんも

暑さにやられ

音鳴らず

【第 24 回 自己表現力コンクール】

# 短歌の部

# 最優秀賞

## 中井 理吏那

(小学1年)

▶講評 なんてすてきな光景でしょう！ 雨上がりの蓮（はす）根畑。見上げれば、夕焼け空。葉っぱのしずくが夕方のさわやかな風でゆらゆらと揺れているのでしょうか。夕焼け空を映した水滴を「ゆうやけいろのビー玉」と表現した感性が素晴らしい！ 情景を見事に表現した透明感あふれる作品です。

はすのはに  
ゆらゆらゆれる  
みずのたま  
ゆうやけいろの  
ビーだまコロリ

優秀賞 <幼児の部>

西川 きい

(5歳)

とんねるは  
かみなりのなかに  
いるみたい  
ごろごろどんどん  
ぴかぴかぴかり

優秀賞 <小学生の部>

中井 萌百那

(小学5年)

はすのはに  
しずくがゆれる  
ひとつぶの  
おちるなたえろ  
かさねるおもい

優秀賞 <小学生の部>

吉川 由華

(小学6年)

暴走中  
となりの文字も  
消しちゃった  
センターライン  
守れ消しゴム

入選 <幼児の部>

徳田 英之

(3歳)

ついてくる  
ぴかぴかきれい  
おつきさま  
かくれんぼは  
にがてだね

入選 <幼児の部>

伊奈 海斗

(4歳)

あゆつかみ  
にげるすがたは  
かわいいね  
しおやきたべて  
おなかいっぱい

入選 <幼児の部>

神谷 柊平

(5歳)

うれしいな  
やさしいきもち  
プレゼント  
かわいいおりがみ  
どんどんつくるぞ

入選 <小学生の部>

坂田 侑翼

(小学6年)

むしかごの  
かぶとが産んだ  
よう虫を  
元気に育てと  
くぬぎの根元に

【第 24 回 自己表現力コンクール】

# 詩の部

優秀賞 <小学生の部>

田代 楓怜

(小学1年)

「ママのひみつ」

「ママのひみじ」

「チチンプイプイのプイー！」

わたしのママはまほうつかい

しんじうまちのとき

わたしはいつもママにおねがいする

「ママ、はやくまほうであおにしてー！」

「チチンプイプイ、あおになーれ！」

ママがじゅもんをとなえると

ほんとうにあかからあおになる

けがをしたときも

ママはいつもまほうをかける

「チチンプイプイ、いたいのとんでけー！」

きずはなおらないけど

いたいのはずこしマシになる

わたしのママはまほうつかい

こまったときにいつでもママは  
まほうでたすけてくれる

でもね、わたしは4がつから1ねんせい  
まほうのひみつをだいはっけん！

しんごうまちのとき

じゅもんがすごくながいときがある

「チチー……ンプー……イプー……イプー

……イ！」

ママはほんとうは

まほうつかいじゃないかもしれない

だけど、やっぱりわたしは

きょうもママにおねがいする

「ねえ、ママ……まほうをかけて！」

優秀賞 <小学生の部>

中村 曜

(小学3年)

「てん」

「てん」

テストひやく「てん」

きょうつう「てん」

「てん」すづがつく

てんてん、「てん」

きょうつう「てん」

零「てん」五ミリくらい

氷、すっ「てん」われた

本当は氷の実験

ためしたかっ「てん」

てん、てん「てん」

今の「てん」きは

う「てん」だ

入選 <幼児の部>

早川 おん

(6歳)

「いもうとは  
まほうつかい？」

「いもうとはまほうつかい？」

デコボコ、ナタデココ。

ぶしやぶしや、しやぶしやぶ。ビンババビン  
ババン、ビビンバ。かみぼけ、かみのけ。

わたしのいもうとのいいまちがい、じゅもん  
みたいでおもしろい。もしかしたらまほうが  
つかえるのかも！

【第24回 自己表現力コンクール】

# 作文の部

優秀賞 <幼児の部>

歸山 泉

(6歳)

「くっした  
まいごセンター」

「くつしたまいごセンター」

ピンポンパンポーン

「まいごのおしらせです。ピンクいろのおほしさまのもようのくつしたがいごです。」

ここは、くつしたまいごセンターです。まいごのくつしたがたくさんやってきます。わたしは、まいごにちここではたらいっています。ああ、いそがしいそがしい。

「わたしのいもうとしらない?」

と、ピンクいろのほしのもようのくつしたが、きていいました。

「このこですか。」

と、わたしがききました。

「このこです。いもうとをさがしてくれて、どうもありがとうございます。」

しまいで、てをつないで、よろこんでかえっていききました。きょうも、くつしたがみつかってよかったです。な。

いえのなかをパトロールしていると、

「うえーん！ おにいちゃんどこにいるの。」

いえのにわでないうるくつしたがいました。

「まいごなの？ わたしが、おにいちゃんをさがしてあげるよ。」

といって、くつしたまいごセンターにつれていきました。そして、ほうそうをながしました。ピンポ

ンパンポーン。

「まいごのおしらせです。みずいろで、あかいくるまのようなくつしたがまいごです。こころあたりのあるかたは、いっかいのくつしたまいごセンターにおこしてください。」

すると、みずいろのくつしたがやってきて

「ぼくのおとうとかもしれない。」

「このこですか。」

わたしがききました。

「ぼくのおとうとです！ みつけてくれてどうもありがとうございます。」

ふたりで、じゃんけんをしながら、なかよくかえっていきました。まいごのこを、たすけることができてよかった。あしたは、どんなこがくるかな。

まいごになったら、いつもでわたしをよんでね。さがしてあげるからね。

【作文の部】

入選 <小学生の部>

栗原 梢

(小学2年)

「夏休みの  
ふしぎなできごと」

「夏休みのふしぎなできごと」

夏休みにおばあちゃんのお家へとまりに行きました。いろいろなはっぱをひろいに、おばあちゃんの家のおちかくの森へ行きました。

森をあるいていると、まっ白で小さくてかわいいこねこがいました。わたしがあるいて、はっぱをひろっていると、こねこがついてきました。こねこがずっとついてくるので、

「どうしたの？」

と聞くと、こねこはくびをふって、ついてきてほしいかなんじだったので、ついて行くことにしました。

どんどん森のおくに入っていくので、こわかったけれど、

「おいで、おいで。」

とこねこはなんどもふりかえたので、そのままついて行くことにしました。

こねこが立ちどまると、そこはこねこのお家でした。こねこといっしょにおうちの中に入ると、こねこのおかあさんがいました。

こねこのおかあさんにテーブルのせきにあんないされると、そこにはたくさんのごちそうがならんでいました。すいか、メロン、マンゴーなど、わたしのすきなフルーツもたくさんありました。ごちそうを食べていると、こねこのおかあさんがい

いました。

「雨のときに、こねこにかさをさしてくれたので、おれいをしたかったのです。」

わたしはそのときに、あのねこだったのかと気づきました。

その後も、こねことおいかけっこをしたり、ボールであそんだりしました。とてもたのしかったけれど、くらくらなる前にかえることにしました。こねこのおかあさんは、

「ありがとうね。」

といってプレゼントをくれました。

わたしのお家の近くまで、こねこがおくってくれました。

家にかえると、おかあさんにきょうあったこねこの話をしてからプレゼントをいっしょにあけました。それは大きなケーキのおくりものでした。

おとうさんとおかあさんとわたしで、おいしいねといいながら食べました。また、会えるといいなと思いました。

入選 <小学生の部>

久米 徳乃丞

(小学3年)

「風になったぼく」

「風になったぼく」

ある朝、おきると、なんだかとても寒かった。「あれぼくの体がないぞう。」自分の体を見るととう明になっていた。ぼくは、ために「おーいだれか来て」と大声でさげびました。しかしさけんでもだれもぼくの部屋に来てくれませんでした。おき上がるうとすると、ふとんがかってにとんでいきます。かがみをのぞきこむと、小さなつむじ風みたいな自分がうつっていました。ぼくは、そよ風みたいにそーっと一階に下りていきました。一階ではお母さんが朝ごはんを作っていました。お母さんは、ぼくに気がつかないので、一人でぼうけんに行きました。行きさきは、日本のドキドキ遊園地です。自分がつむじ風なので、早く早く着きます。着いたらジェットコースターの風とおいかけてっこをします。ジェットコースターの風はすごくスピードがはやいのでおつけません。次はメリーゴーランドの風です。メリーゴーランドの風はおそいのでそよそよ風になります。ぼくは、だんだん気持ちが悪くなって、いつの間にかねむってしまいました。目がさめると、ベッドの上でした。ぼくの体はゆめの中で出会ったまほうつかいによって元にもどりました。自分の体が風に変身した時はドキドキしたけれど、風のぼうけんは楽しかったです。

入選 <一般の部>

平田 みう

(17歳)

「幸せとは何か」

「幸せとは何か」

幸せとは何か、少しでも長く生きることだろうか。それは違ってもかもしれない。少しでも長く健やかに生きることが幸せに繋がる。今、私は身近な人の姿を見ながら、この想いで胸が強く締め付けられている。

私の父親は過去に甲状腺がんと腎臓がんを患って腎臓を一つ摘出し、数年前から週四回の人工透析を必要とする身となった。厳しい食事制限によって自分の好きな食事も口にできない。動脈硬化が進み、血圧の上下が厳しく、軽い脳梗塞も患ってしまった。また昨年には、足の指を外科処置により切断しなければならなかった。靴擦れの傷が治らず悪化して足が赤黒い色となり、壊疽したからだ。足の指を切断するなんて本当に怖い事だと感じたし、何よりも悲しかった。しかし、壊疽を放置すると足全体の血流が阻害されて命にも関わる。他に方法は無かった。その処置から一年以上が経過しているが、傷口はまだ完全に癒えてはいない。

今の父親は家の中を歩くのにも苦痛が伴う。足の筋肉が減って伝い歩きしかできない。自宅の階段は四つん這いになって上がる。このような状況なので、移動をする時は父親に車椅子を使ってもらう。私は押す側として、この車椅子が想像以上に重たく、少しの段差や傾斜、障害物に大きな注意を払わ

なければならぬ事を知った。車椅子を押しながら、頭の中に小さかった頃の父親との思い出がよぎる。お弁当を持ってよく動物園へ行った。キリンと猿を見るのが好きで、ぬいぐるみを買ってもらった。園内にある小さな遊園地で乗り物に乗ることも楽しみだった。家ではよく双六やかるたで遊んでもらった。あの時の元気で嬉しそうな父親の笑顔を、もう久しく見ていない。体が崩れると、心が崩れてします。

「しんどい、自宅にても入院しているのと同じだ」「お父さんの仕事はね、一日一日を生きることだよ」「みうが成人式を迎えるまでは生きていたいな」と、力のない声で父親が私に言う。私は涙なくして、こうした父の言葉を聞き入れることができない。私に出来ることは何だろうと考え続けている。父親の体を治すことは出来ないけれど、心の支えにはなっ  
てあげられるかもしれない。私は父親に明るく、優しく、色々な話をしてあげようと努力している。お父さん、せめて一日でも長く健やかな心で生きて欲しい——そう願っている。

【第24回 自己表現力コンクール】

# 絵画の部

# 最優秀賞

## 高橋 巧

(小学4年)

▶講評 色のくみあわせがばつぐんで、目をみはるものがありました。ダイオウイカの迫力がはちきれていますね。研究されてきたグソクムシたちのオレンジと反響して、深い深い海の底でも華やかさが重なりました。深海は深く、暗くて、視力が弱い魚や生物が多いと言われていたますが、だからこそ体がすれ違ったり、気配でおびえることも多いのかも…。想像するのも楽しくなる作品です。水の流れも濃い紺からぐん青、そら色まで、美しく描かれました。巨大なクジラやリュウグウノツカイ、チョウチンアンコウ、クラゲもそれぞれ心がこもっていて、エネルギーあふれる力作でした。



### ダイオウイカとザトウクジラが 戦う姿をみまもる深海生物

優秀賞 <幼児の部>

菅野 央

(5歳)



有栖川公園で縄跳び

優秀賞 <小学生の部>

長瀬 千紘

(小学2年)



まぼろしのレッサーパンダ

優秀賞 <小学生の部>

磯野 計太

(小学3年)



見つけたい！ ニセハナマオカマキリ

入選 <幼児の部>

木村 百亜

(5歳)

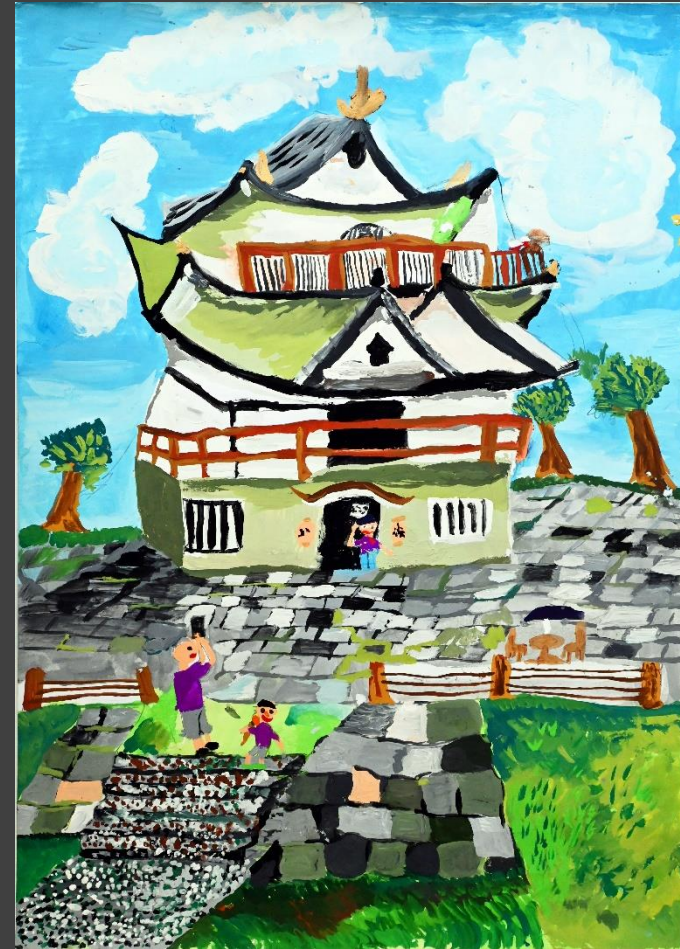


上海のフカヒレ めしあがれ！

入選 <小学生の部>

鈴木 孔太郎

(小学2年)



ぼくとじじのなつの思い出 ～お山のお城にのぼったよ～

入選 <小学生の部>

茨田 一

(小学5年)



飛ぶカワセミ

入選 <小学生の部>

# 大庭 彩愛

(小学5年)



お見事！ かわせみ

【第24回 自己表現力コンクール】

# アンデパンダンの部

【アンデパンダンの部】

入選 <幼児の部>

神谷 佳奈子

(5歳)



もりのじょうおうと どうぶつたち

入選 <小学生の部>

立野 拓也

(小学4年)

●…作品についてのコメント…●

(CD作品のため、コメントを掲載)

長いお話をするのががんばりました。  
スピーチを聞いたり見たりしている人が  
わかりやすいように表現を工夫しました。

The 130-Storey Treehouse ~Laser Eyes and

## 第24回 自己表現力コンクール・実行委員会

---

●主催：特定非営利活動法人 現代用語検定協会

1995年11月発足以来、「作文検定」、「小論文検定」を主催、実施する。

2001年より「自己表現力コンクール」を主催。

代表理事＝片岡輝（詩人、児童文学者、東京家政大学名誉教授）

●選考委員

委員長：片岡輝

委員：清水均（現代用語の基礎知識元編集長）／結城昌子（アートディレクター）／東海林ふみ（作文教室主催）／福永いずみ（絵画教室主宰／私立高校講師）／浅沼美未（現代用語検定協会理事・事務局長）

新川久美（現代用語検定協会理事）／小田静（現代用語検定協会理事）／

齋藤絵里香（現代用語検定協会理事）